



二宮淳一議員

### 阿弥陀川の防災対策は

### 河川管理者の県に強く要請する

**問** 阿弥陀川の荒廃がひどい。県下でも有名な荒川であり、過去の大洪水では家を流し、道路を決壊させたと記録にある。一部の地権者のために、70年間放置されていると聞いている。河川周辺に居住する多くの人々の安全のために、雑木の伐採・

**答** (山口町長) 阿弥陀川は暴れ川であることは承知している。過去にさまざまな工事がなされたが、施設の老朽化が進んでいる。

堰堤の修理・護岸の補強が急務である。県に対し、強力な要請を望む。

修理が急がれるが、一部地域で地籍混乱地があり、理解が得られないまま今日に至っている。問題解決の方策を練り、今後も引き続き県に要望していく。



国道9号から見た阿弥陀川

### 街路樹、公園の管理は 指定管理者制度への移行も検討

**問** 償却資産である建造物は、維持管理費を使っても年々老朽化していく

**答** (山口町長) 管理方法や目的について不効率な点もあり、改善の必要性を感じている。今後は施設のもつ特性と使用目的を考えシルバ人材センターや、専門業者委託方式等で対応して行き、更に指定管理者への移行も視野に入れた方法を検討する。

### 高麗山の麓に薬草の森を 中長期ビジョンで検討

**問** 大山振興室は、町内の豊富な資源を発掘し活用することが目的である。妻木晩田遺跡と結んだ大規模な薬草の森を開発して、住民の健康に対する意識を高揚しつつ、観光行政の一環としての効果も期待できると考える。さらに高齢化対策でもあり、10年先、50年先の実現であってもぜひ取組むべきと考える。

**答** (山口町長) 大山振興室では、大山を核にした実現可能な中

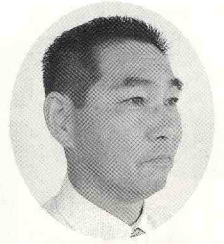
長期ビジョンの構築を指していく考えであるが、妻木晩田遺跡は平成11年12月に国の史跡に指定され、指定地内での開発行為は、あくまでこの史跡を維持・保全する目的に限定される。さらに鳥取県教育委員会「国史跡妻木晩田遺跡整備活用基本計画」が策定された。従って、この整備活用基本計画と大山振興計画との調整を図りながら事業展開をしていく。



元気が悪い花街道の樹木



大山支所に備えつけてあるAED



西尾寿博議員

## 「AED」の導入は

### 受講者を増やし設置を検討

**問** 平成16年7月から医療関係者以外でも使用できる自動体外式除細動機「AED」は、運動時などの突然の心肺停止に対して、人口呼吸や心臓マッサージより効果的である。

心肺停止直後の心臓は、ケイレン状態にあり、この時、「AED」すなわち

電気ショックを与えることにより、正常な心臓の働きが回復する。しかし、完全に心臓停止の状態では、効果がな

いに導入しているが、本庁や中山支所にも設置を検討したい。

- い。
- (1) 公共施設への導入は。
  - (2) 価格はいくらか。
  - (3) 町のスポーツ施設は、町以外のチームが来て活発に利用されているが検討対象になっているのか。

### 答 (山口町長)

(1) 使用に関する講習を受けたものは、医師法違反にあつららず、急速に普及している。

また、携帯持ち出しが可能であり、初期の救急救命にも有効であるため、全国スポーツ祭やクロスカン トリー大会などの催しを控え、より一層の備えが必要。

すでに、名和診療所、大山支所、社会福祉協議

## 海上・沿岸防備は大丈夫か 自主的な活動も重要

北朝鮮は国際社会に背を向け、覚せい剤の密輸や紙幣の偽造・拉致や核問題など、一連の行動によつて莫大な利益を産んでいる。

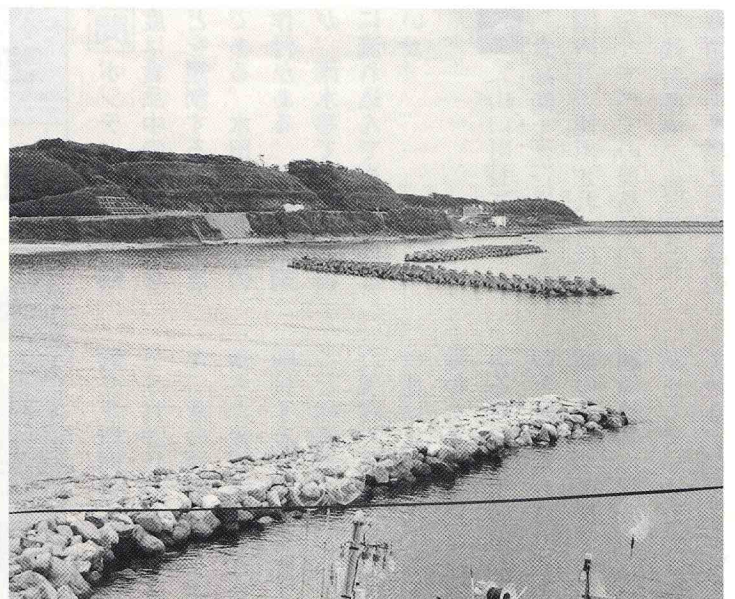
- (1) 複雑で長い沿岸線だが、いかに人命と財産を守るのか。
- (2) 有事関連の国民保護法の取り組みは。
- (3) 国民保護法第35条、市町村国民保護計画の策定日は。
- (4) 外灯および管理道など、国や県に要望する考えは。

### 答 (山口町長)

(1) 海上保安庁や警察は、日常的に海上あるいは湾岸を巡視し、不審船や集団密航の監視摘発を行っている。

しかし、この活動にも限界があり、地域の安心安全は自分たちで守るという自主的な活動が大切である。

海上の地理・地形に精通している漁業協同組合・沿岸防犯協力会等と連携を図りながら、犯罪・事件の未然防止に努めている。



複雑で長い海岸線。ここに麻薬が漂着した

きたい。

(2) 国民保護法は、わが国が武力による攻撃を受けた場合または大規模テロ等があつた場合に、国・県・市町村及び各種機関が住民との協働により、その任務を具体的に遂行することを規定している。

市町村の役割は、住民の生命・財産を守ることであり、安全に住民を避難させ、また避難先での生活を確保することである。

現在、規定されている

### 答 (諸遊総務課長)

(3) 西部広域市町村で、早急に保護計画を協議調整し策定する。

### 答 (山口町長)

(4) 計画策定の中で、課題が出てくれば当然国や県に対して要望は、しっかりとしていきたい。



岩井美保子議員

# 巡回バスに乗る児童は無料に 公平感のある対応を考える

**問** (1) 広域農道から南高田周辺の児童が回数乗車券で巡回バスに乗っている。バスは児童で満員、大人が乗車できないためタクシーが追従している。朝の交通移動で一番忙しい時に運転手2人を拘束し、サービスが低下している現状を把握しているか。

(2) 停留所の土地提供者は巡回バスが無料だということで無償で貸すことに

した。その後有料になったことを知らず、児童に負担をさせている町の対応に不満を持っている。

中山地区・大山地区において児童が有料でバスに乗っている例はあるか。

(3) 現状を踏まえ見直しを検討し、南高田地域にもスクールバスの運行をすべきである。

## 答 (山口町長)

(1) 昨年に比べ乗車対象児童が4人増えたことによる一般利用者への影響について、委託業者・教育委員会事務局と協議しながら運行している。この区間のこれまでの利用実態をみたとき、タクシー代行の必要度は低いと予測したが、4月・5月は万全を期して巡回バスとタクシーを一緒に走らせて利用状況を見守ってきた。この間タクシー利用

者に通常より何度か時間がかかったことがあったと聞いている。6月からは巡回バスの乗車状況によってタクシーを手配する方法に戻して運行している。

(2) 日本交通が運行していた路線バスの停留所等に提供されていたものを巡回バスで引き続き利用させていただき、街灯の電気使用料を町が負担することを条件に土地使用の承諾を得ている。

中山地区・大山地区では遠距離通学をする児童は、スクールバスを利用する。路線バスを利用する場合は定期券を購入しその代金を全額補助している。

## 答 (山田教育長)

(3) 平成19年度の通学方法はすべての小中学校を対象にして検討をしている。旧3町が合併をして、今までの経緯を十分に踏まえながら、公平感のある対応を早急にしたいと考えている。

# 芝の残留農薬の影響は 適正使用なら心配ない



## 問 ポジティブリスト制度は食品中の残留農薬などを規制する新たな制度である。水田転作で芝の作付がある。芝の除草剤が、雨水等で隣接の水田に流れ込んで影響はないか。

販売を原則禁止する制度で5月29日から施行された。芝の消毒液が土壌に落ちた後、雨水とともに隣接する水田に移動することは極めて少ない。また現在の芝の農薬は非常に速いスピードで分解がある以上は影響がないものと考えられる。残留農薬の検査があれば、関係機関に行政の方から話をしていきたいと考えている。

## 答 (山口町長)

食品衛生法に基づき、国内外で使用されるほとんどすべての農薬について残留基準が設定され、残留基準を越える食品の

残留基準を越える食品の



期待される滞納対策室



秋田美喜雄議員

どうする各種滞納金

悪質滞納者には法的手段も

**問** 三位一体改革による補助金や交付金が廃止・縮減される中、各自自治体でも滞納金対策について

いろいろな取り組みがなされている。本町では、機構改革によって、滞納対策室を設置した。

自主財源に乏しい本町において、各種滞納金が多く、事業や行政サービス

スにも支障を及ぼしている。今後の方針は。

**答** (山口町長)

本年4月税務課内に職員2名と嘱託徴収員の3名体制で滞納対策室を設けた。

未収金の集中管理を行い、悪質滞納者には法的手段の執行を含む厳正な滞納処分を行う。また各種料金等の滞納金を抱える各課との連携を図り、全庁一体となって未収金の回収に取り組むことにしている。

嘱託徴収員は過年度分を中心に臨宅徴収に努めた。職員は本所支所の税務担当課等と共同で、現年度分を中心に計画的な電話催告や班別による臨宅訪問を行って徴収に努めた。

また、滞納金を効率よく効果的に徴収するため、

現状を把握分析し、課題を明確にし、それらを解決するため、現在、全国の先進事例を参考にしながら18年度大山町税金等滞納対策方針の策定作業に取り組んでいるところである。

さらに滞納があると行政サービスや行政運営に支障を及ぼすことにもなる。今後の方針は、支払能力があるにもかかわらず、滞納を続けているケースなどは、税や料金の公平負担の面からみて極めて重大な問題があるので、債務名義を取得したり、滞納処分を実施するなど厳しい姿勢で臨む。

**問** 昨年6月に景観法が施行された。我が大山町は、南に大山、北に日本海、貴重な歴史遺産等、他の地域にない優位性を備えている。

しかし、今や铁塔・風車が次々に立ち並んできた。新エネルギーの観点からは一概にノーとは言えないが、例えば「妻木晩田遺跡」や「藤寺」の周辺に不似合な高層建築物が建つようなことになれば観光地としての環境の保全是できるのか。次世代に何を残していくのか、私たちが誇りとする、皆が住みたくなる大山町の姿を共に考える時期にきているのではないか。

また景観行政団体として手を上げれば、町独自で住民と協議しながら、商業ゾーン、観光ゾーンの計画を作ることができ



吉原美智恵議員

景観法をどう生かすか

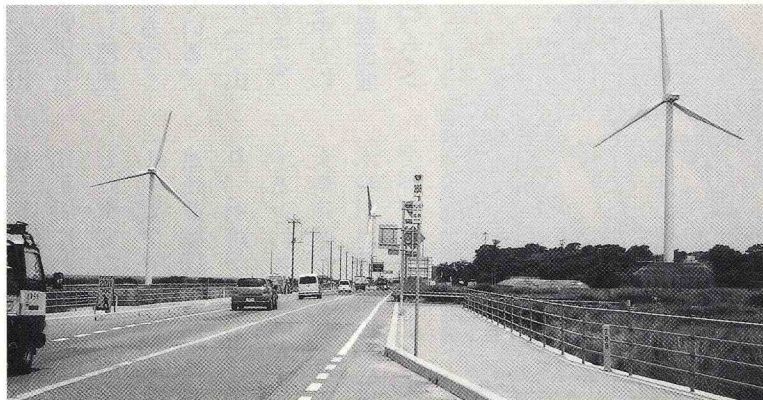
慎重な運用が必要

**答** (山口町長)

景観法は、住民・事業者・行政に良好な景観の形成の促進に関する施策の協力・推進・啓発の責務を定めている。住民や事業者が新たな景観をつくる場合に生じる利害関係の調整や、良好な景観との調整が求められている。景観の保全について住民・行政・事業者が法の趣旨を踏まえ慎重な運用が必要となる。

また、景観行政団体は、県の同意が必要である。当然大山という自然景観を大切に、売りにしていきたい。県の規制の中で開発なり、景観づくりが行われ

ている。当面はその状況を踏まえながら、住民の皆さんの合意が得られる方向の中で調整していくことも、大切な課題ではないかと考える。いい町づくりをしていきたいという思いは同じである。



9号線の両側に立ち並ぶ風車



諸遊壤司議員

## 住宅地図入り電話帳の早期配布を

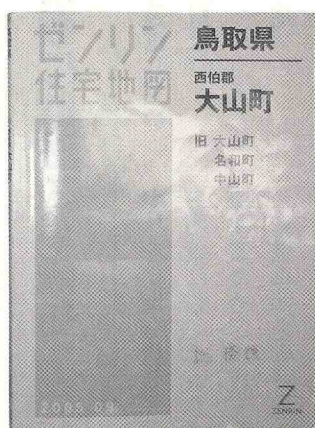
### 町独自の発行は困難

**問** 合併して一年余り、牛歩のごとくであるが、旧三地区の住民が文化面、スポーツ面等で交流が進みつつある。しかし、地域間交流が始まったとはいえ、まだ他地区の集落名や家々の居住地が不明のため、町民から多くの不満の声を聞く。

新大山町内の住宅地図と電話帳を一緒にしたものを早急に無料で配布す



旧3町の住宅地図入り電話帳



ゼンリンの住宅地図

べきと思う。町で直接出

来ないのなら、商工会等に補助金を出すなどの方法もある。このことがなお一層の地域間交流を推し進めることと思う。

### 答

(山口町長)

個人の情報は個人の価値観の中でいろいろな思いがあり、個人情報は大切にしなければならぬし、行政としても守って

いかなくはならない。

また、電話帳や住宅地図に掲載された者や建物の変更・追加・抹消などの事由が生じた際のデータ管理・簿冊更新の課題・相当な労力・商工会への補助金も含め多額な経費支出などを考えれば、現時点で大山町で独自に発行することは困難であると判断する。

## 総合計画(案)に2つの提言

### 重要性は認識している

### 問

合併後初めての総合計画(案)が示された。本計画は合併時に策定した新町まちづくりプラン(新町建設計画)を踏まえて本年より平成27年度までの10年間の基本構想であるが、2点大きな課題が欠落していると思う。

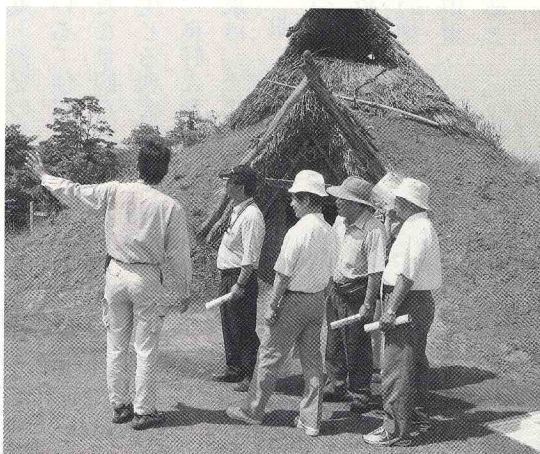
(1)妻木晩田遺跡は平成11年12月国の史跡に指定された。約2000年〜1700年前に栄えた152haに及ぶ国内最大級の弥生時代の集落跡である。面積の9割近い130haが大山町地内にあるにもかかわらず活用も計画もない。佐賀県の吉野ヶ里

### 答

(山口町長)

大山町総合計画基本構

想(案)は、本町の今後10年間にわたる姿を展望した重要な計画である。(1)主要アクセス経路や関連商業施設の立地等により、遺跡が米子市に存在するという認識が広く、大変迷惑である。今後妻木晩田遺跡活用実行委員会等で協議を重ね、本町



妻木晩田遺跡の活用を

1の料金所の跡地(県有地2ha)の活用を考えてどうか。隣接の市町が計画案を出しているの、我が町も遅れることなく計画・実施案を早急に示すべきである。

発展の貴重な資源と位置づけ、整備活用に努める。(2)道の駅の重要性は十分認識している。国土交通省、県にも強い想いを伝えて、「山陰道大山周辺利用促進協議会」を新たに立ち上げ建設位置についてさらに検討を始めたいところである。



西山富三郎議員

## 幼児教育のねらい・内容・計画は

### 13名の委員で9月中に示す

**問** 子どもの成長を促すことは、すなわち脳を育てる仕事といっても間違いない。脳の成長するプロセスからみて3歳までの環境づくりが特に大切であり、遅くとも8歳ごろまでにその後の人生を豊かに過ごすための基礎を作ることが望ましいと考えられている。

**答** (山田教育長)  
(1) 先般専門家・町内関係者13名で構成する「幼児教育振興計画策定委員会」

を設置した。第1回委員会を6月中旬に開催し、9月中に結論を出したい。  
(2) 健全児と障害児が同じ仲間として共同保育していくことは大切である。本町では全保育所対応できる。本年度は、御来屋・大山・下中山・光徳の4保育所で行っている。  
(3) 基本的な生活習慣や他人に対する思いやり、社会的マナーなどの能力を培うためのあらゆる場面で取り組んでいる。また児童クラブなどの場面でも道徳性の芽生えとその育成に配慮している。  
(4) 県・西部地区の保育協議会や県教委主催の研修会をはじめ全国保育研究会などに参加をし研修をはかっている。  
保育士・保護者・地域住民が同じ視点で子ども

たちの成長に取り組むことは大切であり工夫を重ねている。  
(5) どの子どもたちも豊かに伸びていく可能性を持っていると信じている。  
特に乳児から幼児期にかけては人間形成の基礎を培う極めて重要な時期である。保育所・家庭が連携を密にして幼児教育課の成果につなげていきたい。

日、鳥取県総合芸術文化祭第3回鳥取県民謡まつりに出演し、踊り・口説き共に好評を博した。  
町誌・民俗分野に盆踊りが記載されると思う。  
(1) 「さいご踊り」と書くのか、「西郷踊り」と書くか。  
隠岐の西郷町はどういうところか。  
(2) 米子盆踊りは鳥取県無形文化財の指定を受けている。元祖は、旧名和町・旧大山町と聞いている。  
盆踊りの起源をどのように認識しているか。  
(3) さいご踊りの口説き歌は何曲ぐらいあるか。  
収録保存されているか。  
なければ新しく収録保存されたい。  
(4) 盆踊りはすぐれた郷土芸能である。行政・教委・町民こぞって伝承に努めるべきではないか。

大山町誌では「さいご踊り」「サイゴ踊り」と記載されている。

## 盆踊りは大切な郷土芸能 スポットをあて伝承する

**問** 大山西郷踊り伝承会(旧名和町)は昨年12月4

日、鳥取県総合芸術文化祭第3回鳥取県民謡まつりに出演し、踊り・口説き共に好評を博した。  
町誌・民俗分野に盆踊りが記載されると思う。  
(1) 「さいご踊り」と書くのか、「西郷踊り」と書くか。  
隠岐の西郷町はどういうところか。  
(2) 米子盆踊りは鳥取県無形文化財の指定を受けている。元祖は、旧名和町・旧大山町と聞いている。  
盆踊りの起源をどのように認識しているか。  
(3) さいご踊りの口説き歌は何曲ぐらいあるか。  
収録保存されているか。  
なければ新しく収録保存されたい。  
(4) 盆踊りはすぐれた郷土芸能である。行政・教委・町民こぞって伝承に努めるべきではないか。

中山町誌には、伯耆西部つまり西部の農村から生まれた踊りというような意味を持っているなどの記載がある。  
隠岐の西郷公民館に聞き取りを行ったところ、現在も盆踊りは盛んであるが隠岐自身は西郷踊りと呼んでいないと言っている。  
「さいご踊り」「さいご踊り」「西郷踊り」一定でないと思う。  
(2) 盆踊りは江戸時代の末期ごろから始まったようであるが断定はできない。  
(3) 口説き歌は5・6曲ぐらいかと思う。  
町教委は収録した資料は持っていない。  
県教委文化課が昭和50年代ごろに録音しているので問い合わせ中である。  
収録保存については検討したい。  
(4) 町内には現在、所子盆踊り保存会・大山町盆踊り保存会・さいご踊り保存会などいくつかある。町誌記載だけでなく資料収集、記録保存に取り組み、伝承しながら文化の還元をしていきたい。



子どもと一緒に盆踊り



小原力三議員

### 蓮浄院の修復は心配ないか

### 小説の世界の物語

**問** 蓮浄院の修復は必要かということである。

志賀直哉の「暗夜行路」の一節に「予期できなかつたのは、米の質が極度に悪いことだった。食うに耐えない米で我慢していると、いつか減食する結果になり身体が弱ってくるように思われた」と書いてある。

さらに平成5年文芸春秋の中で、吉村昭は「実際、私も大山の宿屋に泊まって食事をしたが、米飯のまずさにはあきれた。ボロボロしていてつやも粘り気もなく、志賀直哉が驚いたのは無理もない」と書いてある。

3回も大山の米のまずさを強調している。本を読んだ人たちは勘違いし、旅館にも泊まらず大山観光にも悪影響を及ぼす。風評被害も心配である。大山町は米作り、観光

の町である。蓮浄院の修復には調査費が200万円もつて対策はどうするか。

この著作は既に絶版になっており今後に与える影響力はないと思う。

対策としては「大山の恵み」である町内の農業者の皆さんが心をこめて栽培した良質な食材を、心を込めて調理し、真心を込めてお客様に提供していくことが最も重要であると思う。

### 答

(山口町長)

暗夜行路の最終章の一節に食事に関する記述がある。主人公が大腸カタルで倒れるという結末であり、志賀直哉も伏線をはいていたと記述しており、実際の執筆が大山滞在の24年後であり、大正3年の僧坊での食事でもあり、あくまでも小説の世界の物語と理解をしている。

吉村昭の「私の引き出し」という随筆にも、暗夜行路の一節が引用され、食事のまずさにふれている。確かに大山にとってマインスイメージを与える表現であり残念に思う。

町内の宿泊業、飲食業を営む皆さんが、大山町の誇り最高の食材を最大限に利用され、お客様に最高の満足を与え、旅の雑誌等に「大山の食事は最高」と書いていただけるとなることを願っている。

### 問

通称大山道路と呼んでいる、県道大山口停車場大山線は大山口駅と秀峰大山を結ぶ大山地区の大動脈である。道路幅が狭く、大型車の通行が増え、タイヤがはみ出し、すれ違いにはお互い一旦停止しなければならぬ状況である。

中高地区には歩道もなく歩行やジョギングも危険な状況である。高田工業団地も相次いで増設され大型車の通行も多くなっている。早急な整備が必要である。

### 答

(山口町長)

かつては大山への観光客が大山口駅から大山にあがる表玄関としての観光ルートであった。しかし、米子道開通以降交通量は減少傾向にあるのも事実である。

山陰道が平成19年度に開通し大山道路にも大山インターチェンジが設けられ、姫鳥線、山陰道の全面開通時には再び国立公園大山の表玄関としての観光ルートが脚光を浴び交通量が激増することは想定されている。

当然国立公園大山、町内の観光地へ誘導する仕組みも考えなければならぬ。現在、国道9号線の福尾から所子まで大山口停車場線のバイパス工事が施工されアクセス機能は充足される。大山道路では、佐摩地内で二車線化の道路工事が進んでいる。

来年度要望には平木から神原間の拡幅と歩道の設置を既に行っている。今後、大山インターチェンジ開通に向け大山道

路の観光道路としての充足度や観光客の誘致のための検討組織「山陰道大山周辺利用促進協議会」で観光ルートの機能強化に向けた検討を行い、関係機関に対し事業の推進を働きかけていく考えである。

早急な整備が必要な大山道路



## 大山口停車場大山線の拡幅を

## 事業推進を働きかける



岡田 聡議員

## 路線バス補助制度見直しの影響は 廃止や再編、減便は避けられない

**問** 県から示された広域路線バスの補助制度見直しで、今後の補助対象路線は、合併後の新市町村にまたがる路線であること、平均乗車密度は2人以上という条件がつけられた。交通弱者の移動の確保ができるような利用

者本位の考え方で、さらに地域の活性化のためにも最低現状維持は必要と考える。

(1)本町のバス路線への影響は。

(2)全町一体のバス路線再構築を考えられないか。

### 答 (山口町長)

町内すべての路線が赤字路線で、平成17年度実績では、町負担分が約2700万円である。

(1)中山地区の倉吉駅—下市入口線については既存の倉吉—赤碕系統路線に統合し、赤碕—下市間を廃止する案が示されている。この赤碕—下市間は、朝夕の便を、下塩津—羽田井間を延長して主に通学を考慮した運行がされている。この路線が廃止となった場合の代替措置について検討に着手したところである。

次に、名和地区の運行については、昨年米子駅—御来屋駅線、米子駅—前谷線を廃止し、米子駅—下市入口線に統合した経過があり、当面現行どおりとし、利用状況を見守ることになっている。

大山地区の運行については、米子駅—大門口駅間の折り返し運行と大山寺・佐摩・種原・別所—大門口駅間を利用実態に合った運行回数に見直す案で検討をしている。従って、路線の再編と減便が考えられる。

(2)全町一体のバス路線の再構築は、公共交通機関に求めるものと実際の利用とは大きな開きがある。走っていれば安心感があるが、自家用車の利用によって公共交通機関の利用者は年々減少している。また、バス路線と巡回バス利用者との負担に格差

が生じている。移動手段が公共交通機関しかない人への施策をどう推進するか求められるが、根本的な手立ては見いだせない状況である。

われる。あと4カ月となったにもかかわらず、町民の認知度、関心はいまひとつの感じである。

全国から多くの選手・役員が来町する。大山町のPRにはまたとない機会である。本町の観光資源や農作物など売り込むためにも、もっと町民の関心を高め、出来れば何らかの形で関わりを持てるようにすべきである。

### 答 (山田教育長)

教育委員会の中にスポーツ推進室を設置し、大会の成功に向けて準備を進めている。

ソフトバレーボール大会は大山総合体育館に約500人の選手を、3B体操は名和農業者トレーニングセンターに600人の選手をそれぞれお迎えする予定である。実行委員会を設置して大会運営の準備を計画的に行っている。これから町内全ての小学校の児童によって参加する都道府県の応援旗を作って、開始式には参加チームを激励する

ということも考えている。県の広報活動と連動しながら町報に掲載したり、町内の様々な催し等を利用して、PR活動を行っていききたい。

さらに特産品販売や観光PRを行うほか、前夜祭には町内各種団体有志が地元の食材を使った料理を持ち寄ってもてなす手づくりのレセプションを計画している。

また期間中は、交流広場を開設し、おもてなしの心を大切にしたさまざまな取り組みを展開していきたい。

そして、大会を通じて大山町の素晴らしさを全国に発信できるように、残された期間PRを続けていきたい。

## 全国スポレク祭を大山町のPRに生かせ

## 我が町の素晴らしさを全国に発信したい

**問** 今年10月21日から24日までの4日間、県内各地で第19回全国スポーツレクリエーション祭が開かれる。

本町では、ソフトバレーボールと3B体操が行



# みんなの 声 ひろば



(岡)

ダンスでいきいき  
交流を！  
近藤 盛一

2年前、私はまちづくりの会で「健康の維持増進と地域のふれあいの場づくり」を提唱しました。そこで新町誕生と同時に公民館活動の中に県民カレッジ学友会と連携で中山・大山公民館に「レッ

ツダンス講座」を、名和公民館に児童を対象として「ジュニアダンス教室」を開設しました。社交ダンスと聞くと昔の風俗的な印象を持たれる方もまだおられますが、最近では学校体育の科目

にも取り入れられるようになりました。参加者には、経験者の方はもちろん、運動不足やストレス解消等を目的にした新人さんもあります。どなたも音楽に合わせて体を動かすことの楽しさを実感さ

れているようです。19才から78才の方まで幅広い年齢層ですが、和気あいあいと楽しく交流をしています。

## あとがき

大山町総合計画も提案され、激しい質疑応答のあった6月定例議会も終わりのころ、庭に蛍が飛んでいます。

この蛍、発光の仕組みはタンパク質性の物質と発光を促す酵素が、体の中で酸化反応して光を作り出します。この時、熱が微量しか発生しません。(冷光と呼ばれています)

エネルギーロスの少ない(蛍光灯の半分以下)発光の仕組みとして、現在、注目を集め、研究されています。

蛍が飛びかう風景を、いつまでも残すことも私たちの務めだと思えます。

(寿)

## タイムカプセル に託した思い



(上福)

前田 ひづる

8年前、次男の小学校卒業の日、最後のH・Rでのこと、クラスの生徒全員が泣いていました。クールかと思っていた子どもたちの姿が意外でしたが、先生を思い、友を、母校を思う心がうれしかった。

雨と涙でグチャグチャになりながら、《タイムカプセル》を先生と皆で埋めていました。少子化問題は、大山町も例外ではなく、三校統合により、庄内小は廃校になりました。学校の周りでは道路の拡幅のための工事が進み、タイムカプセルが気にかかります。

卒業式の日に見せた涙は、いつの日か我が町を担う若い力となり、優しく強い心を養う糧と信じたい。そしてタイムカプセルに託したそれぞれの思いに添えてくれる、そんな大山町に期待しています。

## 不思議な 出会い



(あけまの森)

桑原可菜子

一人旅のお客様でした。チェックイン時に「私はA新聞の記者です」と自己紹介をうけ、私たちはフツと思ひあたることはありません。

1985年ペンション開業時、A新聞の取材を受けていたのです。当時、まだ珍しかった「車イス対応の宿泊施設が大山に

オープン！」という内容でした。「記者は大阪のA氏でしたよ」と話すと驚いたように「エーッ、僕の大先輩ですよ」……不思議な出会いでした。

大先輩の書いた黄色に変色した20年前の記事を皆で読みました。車イス用トイレが今のようになっています。今も、皆が心のバリアをフリーにして暮らせるやさしい町、お客様をお迎えできる暖かい県になってほしいと願っています。

## 《広報委員会》

委員長	西山富三郎
副委員長	岡田 聡
委員	遠藤 幸子
委員	吉原美智恵
委員	西尾 寿博
委員	近藤 大介